



広報

リユース

平成28年
(2016年) 4月号 NO.142

ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

東埼玉資源環境組合 構成市町

越谷市 草加市 八潮市
三郷市 吉川市 松伏町

今号の主な内容

- ・平成28年度運営方針……………2
- ・平成28年度予算の概要……………3
- ・八潮市消費生活展……………3
- ・3月組合議会報告……………3
- ・(仮称)汚泥再生処理センター建設工事の契約締結……………3
- ・田んぼアート2016……………4
- ・展望台の案内……………4
- ・エコバッグ販売案内……………4
- ・ダイオキシン類測定結果……………4
- ・堆肥販売……………4

- 第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 第一工場業務課：☎048-966-0123
FAX 048-965-6569 総務課：☎048-966-0122
- 第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 第二工場業務課：☎048-936-1251 FAX 048-931-5206
- 発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課 ●ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> (PCサイトのみ)



第二工場ごみ処理施設(PERSICLE)本格稼働!



(北東側から見た第二工場ごみ処理施設)

平成26年1月に着工した第二工場ごみ処理施設は、近隣地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら建設を進め、28年3月に完成し、4月から本格稼働しました。

また、施設北側から東埼玉道路につながる道路についても通行可能となりました。

今後は、草加市と八潮市の可燃ごみを適正かつ安定的に処理するとともに、環境対策を徹底し、安全で信頼できる施設の運営を行ってまいります。

さらに、持続可能な循環型社会の形成を目指し、ごみを処理した熱を利用して発電した電力などを工場内で使用するほか、近隣の施設などに供給してまいります。

組合の組織が変わりました

第一工場と第二工場の機能に応じて効率的な運営を図るため、平成28年4月1日に組合の組織を変更しました。新たな組織は、建設準備室を廃止し、計画課、総務課、第一工場業務課、第二工場業務課、議会事務局の体制となります。

■ 組織改正のねらい

4月1日からの第二工場ごみ処理施設の本格稼働にあわせ、施設の配置に応じて効率的に管理することにより、各施設の機能を十分に発揮し、一層の安全で安定したごみとし尿の処理などを目指します。

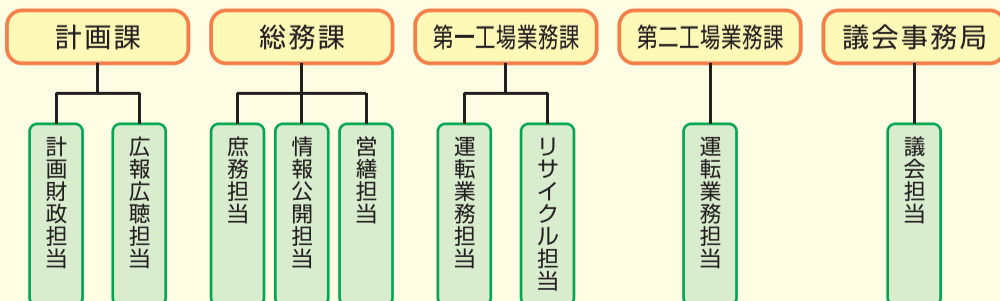
■ 組織改正の概要

- 第一工場業務課
第一工場ごみ処理施設の運転管理に加え、新たに堆肥化施設の業務を所管します。
- 第二工場業務課
第二工場ごみ処理施設の運転管理のほか、し尿処理施設に関する業務、最終処分場に関する業務を所管します。

4月1日からの直通番号一覧

(市街局番:048 代表:966-0121)

課名	担当	電話番号
計画課	計画財政担当	966-0617
	広報広聴担当	966-0121
総務課	庶務担当	966-0122
	情報公開担当	966-0122
	営繕担当	966-0627
第一工場業務課	運転業務担当	966-0123
	リサイクル担当	966-0124
第二工場業務課	運転業務担当	936-1251
議会事務局	議会担当	966-0122



平成28年度組合運営方針



高橋努管理者

はじめに

平成28年3月定例組合議会をご招集申し上げましたところ、議員の皆様にはご健勝のうちにご出席をいただき、ありがとうございます。

本定例組合議会は、新年度の事業を執行する予算案をはじめとする議案をご審議いただき、管理者としての組合運営方針を申し述べ、議員の皆様として管内住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年は9月に関東各地で記録的な豪雨があり、茨城県常総市においては、鬼怒川の決壊、越水による水害が発生し、多くの方々が被災されました。

組合市町についても、各地で道路冠水や床上・床下浸水など、大きな被害を受けました。改めて被災されました皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

このたびの災害で、想定を超える自然の猛威の前では、私たちは時に無力であることをごまかすことと見せつけられました。この経験を踏まえ、日頃より地震や水害等の自然災害に備え、災害発生時に迅速かつ的確に対応するためにも、廃棄物行政の一翼を担う自治体として、施設の更新事業をしっかりと進めていかなければならないと意を強くしたところでです。

3月25日に、東埼玉資源環境組合議会定例会が開催され、平成28年度の組合運営方針を表明しました。

当組合は、管内住民の皆様のご理解ご協力により昨年50周年を迎え、また4月には草加市、八潮市の可燃ごみを処理する第二工場ごみ処理施設が完成し、本格的に稼働を開始いたします。

4月27日にはこれらを記念し、組合設立50周年と第二工場ごみ処理施設の竣工を兼ねて式典を挙行いたします。

また、新しい年度を迎えるにあたり、事務分担を見直し組織改正を行い、資源エネルギー課、資源リサイクル課、建設準備室を統廃合し、新たに第一工場業務課、第二工場業務課を設置し、より効率的な組合運営を目指してまいります。

組合の運営経費につきましては、組合市町からの分担金や廃棄物処理手数料、電力売却代金などの収入で賄っており、また、地域住民および管内団体の皆様と協働して「環境と情報の集い」を開催し、環境保全やごみ減量への啓発を図ってまいります。

（仮称）汚泥再生処理センターの建設工事や既存施設の改修事業においては、国の交付金および地方債を活用し、また、電力の受給・供給については、電力の自由化に合わせ競争入札を実施することにより有利な契約に見直すなど財源確保に努めてまいります。

財源の柱である組合市町からの分担金につきましては、第一工場ごみ処理施設の基幹設備大規模改修事業が、災害時に発生する廃棄物の処理強化に資する国の事業に認められ、新たに交付金対象となつ

たことや、（仮称）汚泥再生処理センターの建設事業が低価格で落札されたことなどから、35億円としております。財政の透明性を確保するための新たな地方公会計の導入につきましては、平成29年度までの運用開始を目指し、引き続き、公会計システムの整備に取り組みでまいります。

地域社会に根差した環境意識の高揚を図る施策について

開かれた組合運営といたしましては、管内住民や事業者の皆様へ、「広報リユース」や組合ホームページを通じて、組合の運営状況や実施事業等を公表し、わかりやすい情報提供を行ってまいります。

環境学習といたしましては、毎年、管内の小学4年生の約9割が工場見学に訪れることから、ホームページやパンフレットにより最新情報を提供するとともに、「夏休み親子スクール」や組合市町のイベントへの参加を通じ、楽しく学べる仕組みを充実させてまいります。

また、地域住民および管内団体の皆様と協働して「環境と情報の集い」を開催し、環境保全やごみ減量への啓発を図ってまいります。



環境と情報の集い

第一工場ごみ処理施設の運営について

第一工場ごみ処理施設につきましては、これまでの過酷な運転状況から設備や機器類において経年劣化が進んでおりますが、第二工場ごみ処理施設の稼働に伴い、ごみ処理量が大幅に減少することから、平成28年度から平成31年度までの4年をかけて、毎年1炉ずつ休止しながら、排ガス処理設備更新工事およびボイラ水管取替工事を行う基礎設備大規模改修工事を実施します。

また、プラント設備の長寿命化に併せて、屋上部鉄骨梁などの構造体の補強や屋根、外壁などの改修工事を、今後数年をかけて実施し、第一工場建屋本体の延命化も進めてまいります。

大規模改修工事の実施にあたりましては、地域住民の皆様との協議により、平成28年度から5年間の周辺環境整備を計画しており、越谷市が実施する道水路の整備事業に対して、経費の一部を負担してまいります。

そのほか、焼却処理のために稼働させる設備につきましては、計画的に機器・電気類の定期補修等工事を行ってまいります。

ごみ焼却に伴い発生する熱エネルギーを利用した廃棄物発電につきましては、第一工場および隣接する公共施設で使用するほか、余剰電力は売却してまいります。さらに、温水による熱供給につきましては、引き続き、隣接する公共施設などへ安定供給を行ってまいります。

焼却灰につきましては、安定化したスラグに溶融処理し、管内にあります最終処分

場エコーパーク吉川「みどり」に埋立処分を行い、それ以外の焼却灰および薬剤処理後の焼却灰につきましては、管外の最終処分場へ搬出し、安全かつ適正に処分してまいります。

堆肥化事業（緑のリサイクル事業）について

緑のリサイクル事業として取り組んでおりますせん定枝、刈り草の堆肥化につきましましては、搬入量が回復しないため堆肥の生産量に限りがあり、日数や販売量に制限を設けております。

現在搬入されているせん定枝、刈り草については、安全性が確認されており、安全に受入れの拡大を図り、安定した堆肥生産量を目指し、継続的な販売に努めてまいります。

第二工場ごみ処理施設について

第二工場ごみ処理施設につきましては、地元の皆様と親しまれる施設となるよう「人と自然との共生」をテーマに掲げ、平成26年1月に建設に着手し、安全な施工に細心の注意を払い、交付金等の財源確保に努めながら、建設を進めてまいりました。

施設の愛称につきましては、多くの方からご応募をいただき、柿の木を意味するパーシモンとリサイクルの造語の「パーシクル（PERSICLER）」にいたしました。

今後は、地元市や第二工場地元連絡協議会等と締結した公害防止協定を踏まえ、環境影響評価事後調査を実施するなど、地域住民の皆様との良好な生活環境を守りながら、草加市、八潮市と連携し、可燃ごみの処理を安全かつ効率的に行ってまいります。

（仮称）汚泥再生処理センターの建設について

（仮称）汚泥再生処理センターの建設および運営事業につきましては、昨年12月に一般競争入札により落札者が決定し、平成30年3月の竣工を目指して建設事業に取り組みでまいります。

この施設は、建設と15年間の運営事業を一体で計画しておりますことから、完成後の運営につきましても確実に実施できるように準備を進めてまいります。

今年度は、周辺環境に配慮するとともに、合理的かつ効率的な施設となるよう実施設計と一部建設工事を実施いたしますが、早期に着工できるよう、関係機関との協議や手続きを行ってまいります。

施設の建設にあたりましては、地域住民の皆様との協議により、平成28年度から4年間の周辺環境整備を計画しており、八潮市が実施する道水路の整備事業に対して、経費を負担してまいります。



（仮称）汚泥再生処理センターイメージ図

最終処分場の運営について

現在、スラグを埋め立てしている最終処分場および旧最終処分場につきましては、水処理施設等の運転管理を包括的民間委託方式により実施し、安全で安定した維持管理に努めてまいります。

また、昨年度に引き続き、吉川市が実施する周辺の環境整備事業に対して、経費を負担してまいります。

おわりに

我が国には、すでに人口減少社会が到来しておりますが、管内においては人口90万を超え、現在も増加しております。

これは、組合市町が長年にわたって取り組んでこられたまちづくりの成果であり、すが、当組合にとりましては、ごみの排出量の増加要因ともなるもので、今後におけるごみ処理費用の増大を招きかねず、将来をしっかりと見据えた運営が求められます。

ごみ処理事業を取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、様々な取組を通じて、今後も持続可能な循環型社会の実現を目指し、『財政計画2013』を基本として、中長期的な視点を持つとともに、組合市町との連携を図りながら、計画性のある事業運営を推進してまいります。

管内住民の皆様が、安心して暮らせる地域づくりに努めてまいりますので、引き続き、ごみの分別収集と減量にご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上、当組合の運営方針を申し上げますが、議員の皆様は、限らないご助言とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ごみの減量化と資源の有効利用をさらに推進

平成28年度 組合会計予算のあらまし

平成28年度東埼玉資源環境組合会計予算の概要につきましてお知らせします。予算額は歳入、歳出とも71億8400万円で、前年度の67億7300万円に比べ6.1%の増となっています。

今年度は(仮称)汚泥再生処理センターの本体工事の着工を目指すとともに、引き続きごみおよびし尿を安全に安定して処理し、ごみの減量化に向けた施策やごみ発電、温水供給による熱エネルギーの有効利用を行い、環境負荷の低減と持続可能な循環型社会の形成に取り組んでいきます。

歳入

◇分担金及び負担金 35億円(構成比48.7%)
組合を構成する5市1町から納入される分担金です。

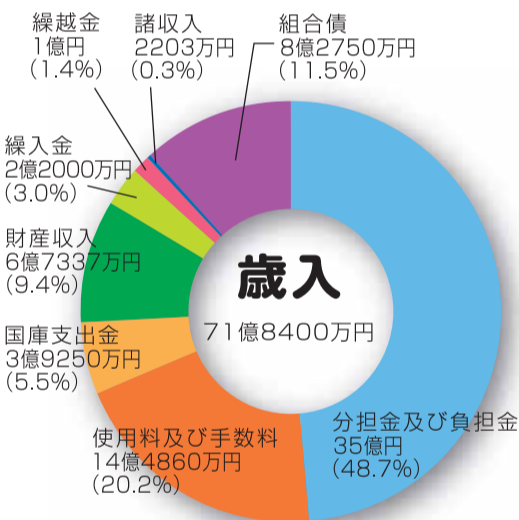
内容は各市・町が均等に負担する平等割が15%、ごみおよびし尿の搬入量により負担する搬入割が85%です。なお、今年度の分担金の市・町別構成比は次のとおりです。

Table with 4 columns: City/Town, Percentage, City/Town, Percentage. Data includes 越谷市 33.0%, 三郷市 16.5%, 草加市 24.0%, 吉川市 9.0%, 八潮市 11.7%, 松伏町 5.8%.

◇使用料及び手数料 14億4860万円(同20.2%)
ショッピングモールや店舗などの事業所から排出される事業系ごみの処理手数料です。手数料は10キログラム当たり210円です。

◇組合債 8億2750万円(同11.5%)
第一工場ごみ処理施設整備事業および第二工場(仮称)汚泥再生処理センター建設事業に係る借入金です。

◇財産収入 6億7337万円(同9.4%)



ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを利用して作る電力の売払代金および廃棄物処理施設整備基金の積立金利子などです。

◇国庫支出金 3億9250万円(同5.5%)
第一工場ごみ処理基幹設備大規模改修および(仮称)汚泥再生処理センター建設に伴い交付される国庫補助金などです。

◇繰入金 2億2000万円(同3.0%)
廃棄物処理施設整備基金からの繰入金です。

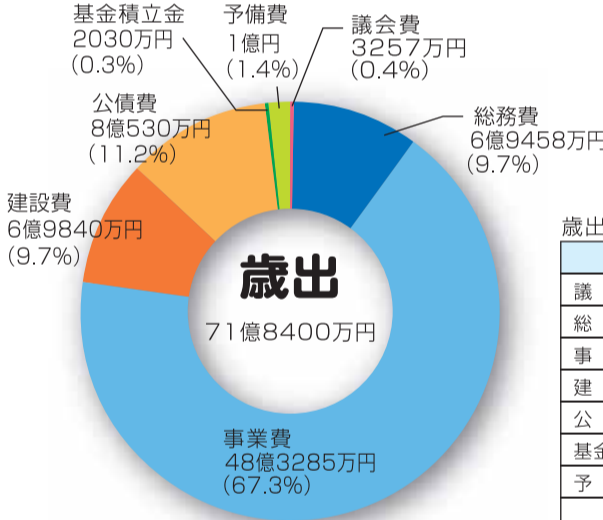
◇繰越金 1億円(同1.4%)
前年度からの繰越金です。

◇諸収入 2203万円(同0.3%)
金属類売払代金および温水の熱供給実費徴収金などです。

歳出

◇事業費 48億3285万円(構成比67.3%)
施設を安全に安定して運転するための費用で、主なものは次のとおりです。

- ごみおよびし尿処理施設、最終処分場の運転・保守管理などの委託料など
●第一工場で定期的に焼却炉や灰溶融炉などの



歳出予算

Table with 5 columns: Item, Budget Amount, Composition Ratio, Previous Year, Change Rate. Rows include 議会費, 総務費, 事業費, 建設費, 公債費, 基金積立金, 予備費, and 計.

3月組合議会が開かれました
管理者提出議案
委員会提出議案
(仮称)汚泥再生処理センター建設工事の契約締結

(仮称)汚泥再生処理センター建設工事の契約締結
3月組合議会(仮称)汚泥再生処理センター建設工事請負契約の議案が可決されました。

『八潮市消費生活展』に出展しました
平成28年2月28日(日)、やしお生涯楽習館にて開催された「第25回八潮市消費生活展」へ出展しました。

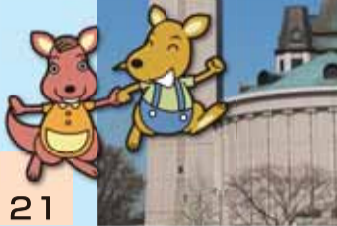
展望台のご案内

東埼玉資源環境組合第一工場には、煙突を利用した高さ80mの展望台があります。

どなたでも無料でご利用いただけますので、ぜひお越しください。

公開日 月曜日から金曜日・第3日曜日
受付時間 午前9時から午後4時
(公開は午後4時30分まで)

問合せ 企画課
☎ 048-966-0121



絵画展優秀作品を展示しています

「第20回環境と情報の集い」絵画展で組合構成市町5市1町の小学4年生から応募があった5,052点の中から、最優秀賞12点、優秀賞作品120点の作品を展示しています。



こしがや 田んぼアート2016

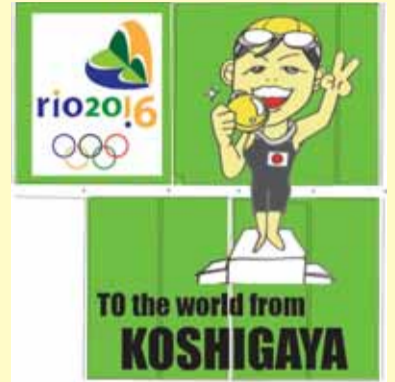


組合第一工場南西側の田んぼに、色つきの古代米などで絵を描く「こしがや田んぼアート」が、今年も開催されます。

7回目となる今年は、今年の夏に開催されるリオデジャネイロ五輪に、競泳のバタフライで出場する越谷市出身の星奈津美選手をモデルに描かれます。

見頃を迎える7月からは展望台の特別公開も行う予定ですので、お楽しみに。

詳細につきましては、越谷市観光協会までお問い合わせください。



問合せ先 一般社団法人 越谷市観光協会
☎ 048-971-9002

ホームページ <http://www.koshigaya-sightseeing.jp>

来場記念にオリジナルエコバッグはいかがですか？



毎日のお買い物にピッタリの、厚手で大容量のエコバッグ(大)のほか、A4サイズのものが入り、ちょっとした物の持ち運びに便利なエコバッグ(小)の販売を開始しました。マイバッグを使って、レジ袋を削減しましょう。

価格 大小とも1枚400円

大きさ ●エコバッグ(大)
タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm、
ハンドル(ひも)60cm
●エコバッグ(小)
タテ36cm×ヨコ35cm×底マチ10cm、
ハンドル(ひも)65cm

雑紙(ざつがみ)回収袋 ご利用ください

お菓子の箱やトイレットペーパーの芯を、燃えるごみとして出していないですか？

これらは『雑紙(ざつがみ)』と呼ばれるリサイクルできるごみですが、多くが分別されずに燃えるごみに混ぜています。

組合では、雑紙の分別を推進するために、展望台にいらした方に、雑紙回収袋を配布しています。雑紙の例などが分かりやすく記載されていますので、この袋を使って、是非ご家庭で雑紙の分別をしましょう。



平成27年度 ダイオキシン類等測定結果 () = 測定日

焼却炉	排ガス(単位:ng-TEQ/m ³) 基準値1ng-TEQ/m ³				焼却炉	焼却灰(単位:ng-TEQ/g) 基準値3ng-TEQ/g		ばいじん(単位:ng-TEQ/g) 基準値3ng-TEQ/g	
	1回目	2回目	3回目	4回目		1回目	2回目	1回目	2回目
1号炉	0.034 (平成27年7月23日)	0.034 (平成27年9月25日)	0.041 (平成27年12月24日)	0.078 (平成28年2月25日)	1号炉	0.012 (平成27年7月23日)	0.017 (平成27年12月24日)	0.19 (平成27年7月23日)	0.33 (平成27年12月24日)
2号炉	0.045 (平成27年6月10日)	0.076 (平成27年8月4日)	0.023 (平成27年11月5日)	0.015 (平成28年1月8日)	2号炉	0.011 (平成27年6月10日)	0.020 (平成27年11月5日)	0.35 (平成27年6月10日)	0.31 (平成27年11月5日)
3号炉	0.048 (平成27年7月16日)	0.031 (平成27年9月17日)	0.052 (平成27年12月25日)	0.029 (平成28年2月26日)	3号炉	0.013 (平成27年7月16日)	0.021 (平成27年12月25日)	0.30 (平成27年7月16日)	0.31 (平成27年12月25日)
4号炉	0.028 (平成27年6月11日)	0.032 (平成27年8月5日)	0.028 (平成27年11月6日)	0.048 (平成27年12月2日)	4号炉	0.075 (平成27年6月11日)	0.039 (平成27年11月6日)	0.30 (平成27年6月11日)	0.33 (平成27年11月6日)

ng(ナノグラム)……10億分の1グラム pg(ピコグラム)……1兆分の1グラム TEQ……毒性等量のこと、ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値。m³N(立米ノルマル)……0℃、1気圧の標準状態に換算した気体の体積

■ 問合せ 第一工場業務課 運転業務担当 ☎ 048-966-0123

統計データ

平成27年4月～平成28年3月実績値

- 可燃ごみ搬入量 (前年度対比 2,274t増)
27年度 245,208 t (100.9%)
26年度 242,934 t
- し尿搬入量 (前年度対比 718kℓ減)
27年度 77,999 kℓ (99.1%)
26年度 78,717 kℓ
- 売払電力量 (前年度対比 1,348,968kWh減)
27年度 82,826,952 kWh (98.4%)
26年度 84,175,920 kWh
- 熱供給量 (前年度対比 876GJ増)
27年度 14,284 GJ (106.5%)
26年度 13,408 GJ
※熱供給量 G(ギガ)=10億の単位
1J(ジュール)≒0.24cal(カロリー)
- 堆肥化施設搬入量 (前年度対比 366t増)
27年度 772 t (190.1%)
26年度 406 t

堆肥の販売日(7月まで)のお知らせ

■ 販売日

平成28年 4月25日(月曜日)、
5月 9日(月曜日)、5月23日(月曜日)
6月13日(月曜日)、6月27日(月曜日)
7月11日(月曜日)、7月25日(月曜日)
※雨天の場合は翌週の月曜日に延期となります
(これ以降の販売は広報紙リユース7月号及びホームページでお知らせします。)

■ 販売時間

午前9時30分～11時30分
※駐車場入口は、午前7時30分に開門します
※来場者数により受付整理券を配付します
※来場者の状況により販売時間を早めることがあります

■ 販売量

1日の販売は、先着200名です。
(先着200名に達した時点で受付終了)
※1人あたりの購入量は50kgまで(販売単位は10kg)
※必ず入れ物をご用意ください

■ 販売金額

10kgあたり100円

■ 堆肥の規格

せん定枝及び刈り草の混合堆肥
※堆肥の成分分析及び放射性物質濃度の測定結果は、ホームページ等で公表します

■ 販売場所

第一工場 堆肥化施設 野外ヤード
(越谷市増林三丁目2番地1)

【問合せ】

第一工場業務課 リサイクル担当
048-966-0124

4月を迎え、新年度、新学期を新たな気持ちでスタートさせたかと思えます。我が家の子供たちも一つお兄さん、お姉さんになり、一人でトイレに行けるようになって、スプーンで上手に食事ができるようになったりと日々成長しています。そんな子供の成長を見ているとうれしい反面、自分も成長しなくてはと感化させられ、スポーツや勉強などで何かを始めるのに遅いことはないかと思えます。目標を持って日々精進していかうかと思えます。皆様もこの春から何か始めてみてはいかがでしょうか。

ちよつと一言

	人口(人)	前年同月比(人)	世帯数(世帯)
越谷市	336,557	2,600	145,724
草加市	245,902	564	111,155
八潮市	86,154	580	38,133
三郷市	137,878	1,002	60,007
吉川市	71,147	1,078	28,382
松伏町	30,232	△307	11,678
合計	907,870	5,517	395,079



平成28年3月1日現在
管内人口